

# 社会福祉施設等で働くみなさまへ

## H I V／エイズの正しい知識 ～知ることから始めよう～



**標準予防策によりH I V感染は予防できます。**



**性行為以外の日常生活で感染することはありません。**

継続して抗HIV薬を服用していれば、ウィルス量が減少し、性行為による感染も防げます。



**今ではH I V感染症は慢性疾患の1つです。**

抗H I V薬が使われるようになってから、エイズによる死亡率は劇的に低下し、H I V感染症は、慢性疾患の1つとして考えられるようになりました。

## 今、社会福祉施設等に期待されること

大阪府において、2023年に新たなHIV感染者・エイズ患者が80人報告され、2023年末の累積報告数は4,081人となりました。また、治療の進歩により、平均寿命がHIV陰性者と変わらなくなってきており、加齢による合併症などによって支援を必要とするH I V陽性者が増えてきています。そのため、H I V陽性者の受け入れ先として、社会福祉施設等への期待が高まっています。

支援が必要な人に対して、生活支援を行ったり、療養の場を提供したりすることは、社会福祉施設等の役割です。他の慢性疾患の人と同様に、H I V陽性者は慢性疾患を抱えて生活をしている人たちです。一人ひとりがH I V／エイズに対する理解を深め、支援が必要なH I V陽性者を迎え入れていきましょう。

### 《参 照》

社会福祉施設で働くみなさんへ H I V／エイズの正しい知識～知ることから始めよう～

平成23年12月発行、平成31年2月改訂

<https://musashinokai.jp/package/wp-content/uploads/2022/11/HIV%E5%85%A8%E7%AB%A0%E7%89%88-2.pdf>

#### <企画・発行>

平成23年度 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業

「H I V感染症及びその合併症の課題を克服する研究」研究代表者 白阪琢磨

分担研究「長期療養者の受入における福祉施設の課題と対策に関する研究」

研究分担者 山内哲也

#### <協力>

社会福祉法人武蔵野会



問合せ先 大阪府健康医療部保健医療室感染症対策課 防疫グループ

電話 06-6941-0351 (内線5307)